

腎臓専門医試験受験者および教育責任者各位

専門医制度委員会
委員長 今井裕一

腎臓専門医試験時に提出の経験症例の記録及び要約について

第 22 回日本腎臓学会専門医試験においては症例評価での不合格者はありませんでしたが、今後も引き続き受験者および教育責任者（又はそれに準ずる責任者）におかれましては以下の 5 項目に特にご留意していただくことをお願い申し上げます。

記

1. 経験症例として提出するものは、単に入院時の病歴要約を転記（コピー）するだけでは不十分であること。
2. 入院中の検査で退院後に得られた結果も含め、全体として 1 症例を経験したことがわかる内容で記載すること。
3. 考察に関しては、単なる感想ではなく、診断と治療に至った根拠を適切な文献【PubMed あるいは医学中央雑誌（商業雑誌を除く）】を引用してまとめること。
4. 入院後の経過および考察に関しては、フォーマットの枠内の 70%以上を使用して記載すること。長くなる場合は、枠内に収まるようにフォントを調節すること。
5. 教育責任者（又はそれに準ずる責任者）は、受験者の症例を十分チェックし、改訂したものに自筆署名、捺印すること

以上